

情報かわら版

1



今月の表紙：チンコロ（十日町市）

今月のトピックス

- ▷ 令和7年度北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事例表彰
- ▷ 【統計】令和6年農業産出額及び生産農業所得（新潟県）
- ▷ 北陸でココだけ！未来の担い手を育てる新潟県農業大学校
- ▷ スマート農業フォーラム 2025 in 北陸
- ▷ 北陸麦・大豆サロン ～知っておきたい麦豆事情～
- ▷ 2026年の恵方巻きのロス削減に取り組む事業者募集中！
- ▷ 令和8年度農林水産関係予算概算決定の概要

電子版はこちら



令和7年度北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事例表彰 ～北陸農政局長賞 新潟県内受賞者ご紹介～

令和7年12月16日、金沢広坂合同庁舎において「令和7年度北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事例表彰 表彰状授与式」が行われ、新潟県内から、村上市の加藤雪子氏と新発田市の櫻井美代子氏が北陸農政局長賞を受賞しました。



植野局長（右から3人目）と受賞者の記念撮影
新潟県内受賞者（左から）加藤氏、櫻井氏

表彰の趣旨（概要）

北陸農政局の管内において、農林水産業、農山漁村における男女共同参画の実現を目指して、経営参画や社会参画の優良な取組を行っている個人や団体を表彰し、その活動事例を広く紹介することにより、北陸地域における男女共同参画の一層の気運の醸成と、女性による農林水産業・農山漁村の活性化の取組を促進することを目的に行っています。

加藤 雪子 氏（村上市）

築160年の自宅を改装した農家レストラン「こころまい」を経営。地元産の米や野菜を使った旬の料理を提供し、店内での特産品販売を通じて集落の農家所得向上にも貢献。さらに、柔軟な勤務体制を整備し、地域の女性が家庭と仕事を両立しながら活躍できる仕組みを構築。マルシェ開催や食育活動、小学生への農作業体験提供、大学生のインターンシップ受入など、地域活性化と次世代育成にも力を注いでいます。



農家レストランで提供する料理



地元小学生の農作業体験

櫻井 美代子 氏（新発田市）

農業委員として農地の集積・集約化や農地の転用調整に取り組み、地域農業の維持・向上に寄与。旧JA北越後（現JA北新潟）女性部や県女性組織協議会会長などを歴任し、農村女性の参画促進に尽力。

また、保育園・幼稚園訪問活動を通じて食育を推進し、子どもクッキングなどで食文化理解を促進。地域女性リーダーとして、女性組織の結束強化と次世代育成に取り組んでいます。



JA北新潟女性部設立総会の様子



保育園への訪問活動

↓受賞者の取組詳細は、以下のURL又は右の二次元バーコードからご確認ください。

<https://www.maff.go.jp/hokuriku/news/press/keiei/attach/pdf/251210-1.pdf>



【統計】令和6年農業産出額及び生産農業所得（新潟県）

農林水産省は、令和7年12月23日に令和6年農業産出額及び生産農業所得を公表しました。

新潟県の農業産出額を見ると3,103億円となり、前年に比べ822億円（36.0%）の増加となりました。

品目別に農業産出額の高い順から見ると、米が2,069億円で農業産出額全体の66.7%を占め、前年に比べ米価上昇等の影響から814億円の増加、次いで野菜が364億円で同じく11.7%を占め、前年に比べて26億円の増加、鶏（鶏卵、ブロイラー及びひなの県外販売を含む）が259億円で同じく8.3%を占め、前年に比べ22億円の減少となりました。

また、上記品目の農業産出額を全国順位で見ると、米は第1位（46年連続）、野菜は第25位、鶏は第16位となりました。



表 令和6年農業産出額及び生産農業所得（新潟県）

単位：億円

年次	農 業 産 出 額												生産農業 所得
	計	耕 種					畜 産					加 工 農 産 物	
		①+②+③	①	米	野菜	果実	花き	②	肉用牛	乳用牛	豚		
令和元年	2,494	2,018	1,501	317	86	68	474	34	58	141	240	1	938
2	2,526	2,040	1,503	321	92	67	485	35	57	139	253	1	945
3	2,269	1,764	1,252	309	90	69	504	37	55	134	278	2	848
4	2,369	1,842	1,319	323	99	69	525	42	52	131	300	2	771
5	2,281	1,775	1,255	338	87	62	504	41	50	131	281	2	805
6	3,103	2,630	2,069	364	97	64	471	45	51	115	259	2	1,116
対前年増減率（％）	36.0	48.2	64.9	7.7	11.5	3.2	△ 6.5	9.8	2.0	△ 12.2	△ 7.8	0.0	38.6
対前年差	822	855	814	26	10	2	△ 33	4	1	△ 16	△ 22	0	311

注：本表では、品目を減らして掲載しているため計と内訳の計は一致しません。

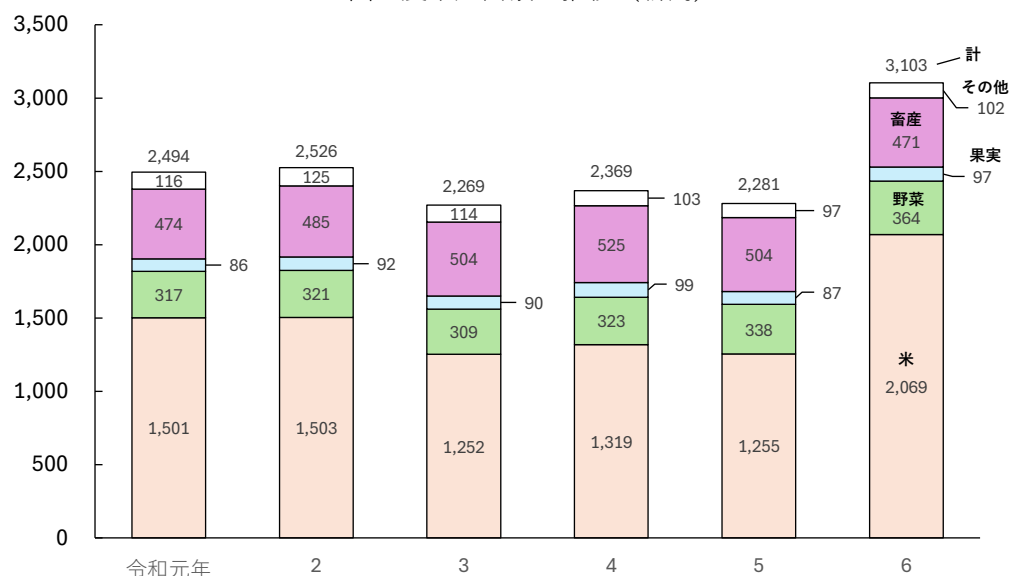
また、数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合があります。



注：右グラフにおける「その他」の値は、合計値から掲載品目の計を減算したものです。

（億円）

図 農業産出額の推移（新潟）



注：「都道府県別農業産出額」は、都道府県を推計単位とし、品目ごとの生産数量に品目ごとの農家庭先販売価格（消費税を含む。）を乗じて推計したものです。

また、「生産農業所得」は、農業産出額から物的経費を控除し、経常補助金の実額を加算したものです。

詳細は以下のURL又は二次元バーコードからご確認ください。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/nougyou_sansyutu/#y2



北陸でココだけ！ 未来の担い手を育てる新潟県農業大学校

新潟県農業大学校は、2年制の県立農業専修学校です。稲作経営科、園芸経営科、畜産経営科の3つの学科に分かれ、農業の基礎から先進的技術まで幅広く学んでいます。

今回は農業大学校の特色と、3つの学科の1つ、畜産経営科について紹介します！



新潟県農業大学校では、2年間で2,000時間の実習が行われます。毎朝6時から始まる農場管理は、2年生が1年生に作業を指導する、学生主体で行われています。2年間で豊富な実務経験を積んだあとは、担い手として就農したり、農業関係の企業に就職する学生が殆どだそうです。最近では、県内外の大学の農学部にも3年次編入する学生も増えています。



実務経験だけでなく、取得できる資格・免許も豊富で、中でも注目したいのが2級認定牛削蹄師。この資格を取得できる農業大学校は、関東甲信越ブロックでは、新潟以外に1校しかありません。



畜産経営科の実習風景と
学生インタビューは次ページ！

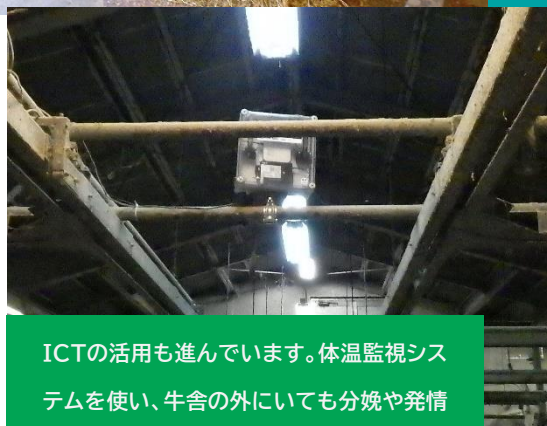
畜産経営科の実習現場に潜入！

畜産経営科では実習や資格取得などを通して、畜産の基礎から現場で役立つ技術まで身につけることができます。ホルスタインを扱う酪農専攻と黒毛和種を扱う肉畜専攻があり、それぞれの専門にあった実習に取り組んでいます。



全国の農業大学校で初！

搾乳機を牛の近くに運ぶキャリアロボットを導入しています。



ICTの活用も進んでいます。体温監視システムを使い、牛舎の外にいても分娩や発情が分かるようになっています。

実習作業中の畜産経営科1年生にインタビューしてみました！

牛が好きで畜産を専攻しました。動物の健康を間近で管理できること、自分のがんばりが乳量に現れることが畜産の良さだと思います。反対に畜産の大変さは牛を引っ張ったり動かしたりする力仕事……もっと鍛えて牛をコントロールできるようになりたいです。

卒業後は大学の3年次編入を目指しています。農業大学校で培った経験と大学で学ぶ理論の両立をしたいです。将来は県の普及指導員になって、県内の酪農家の経営成績を上げるサポートをしたいです。



北陸農政局は、令和8年1月29日(木)に「スマート農業推進フォーラム2025 in 北陸」を開催します(会場及びオンライン開催)。

本フォーラムでは、スマート農業技術の導入に加え、効果的な活用に向けて、スマート農業技術の周辺環境にも焦点を当てた取組事例の紹介等を行います。また、会場では農業機械メーカー等によるスマート農業機器の展示を予定しています。

スマート農業に興味のある方、これからスマート農業を学びたい方、この機会にぜひご参加ください。

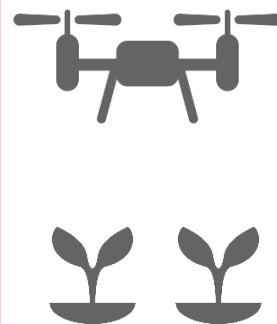
開催日時 令和8年1月29日(木) 10:00～17:00

開催方法 会場参加：金沢商工会議所会館【100名 先着順】
オンライン参加：Microsoft Teams【定員なし】

申込締切 令和8年1月26日(月) 17:00

詳細は以下のURLまたは二次元バーコードからご確認ください。

<https://www.maff.go.jp/hokuriku/seisan/smart/forum2025.html>



北陸麦・大豆サロン ～知っておきたい麦豆事情～

参加無料

北陸農政局は、令和8年2月4日(水)及び2月10日(火)に、「北陸麦・大豆サロン～知っておきたい麦豆事情～」を開催します。麦・大豆の取組に関心のある生産者や実需者など皆様のご参加をお待ちしております。

開催方法

オンライン開催(Microsoft Teams)

※事前申込制 申込締切 令和8年1月28日(水) 17:00

どなたでも気軽に
ご参加いただけます

麦プログラム

開催日時 令和8年2月10日(火) 14:00～16:30



- 1 生産者からの話題提供
- 2 実需者からの話題提供
新潟県醤油協業組合 理事長 佐田 直人 氏 他
- 3 試験研究機関からの話題提供
- 4 意見交換

- ✓ 小麦「夏黄金」の生産拡大の可能性とは
- ✓ 活用できるスマート農業技術とは
- ✓ 北陸産麦の需要の可能性とは

大豆プログラム

開催日時 令和8年2月4日(水) 14:00～16:00



- 1 国産大豆の生産等をめぐる状況について
- 2 生産者からの話題提供
堺町生産組合 組合長 徳茂 順一氏(長岡市)
- 3 実需者からの話題提供
- 4 試験研究機関からの話題提供
- 5 意見交換

- ✓ 気候変動に対応した栽培とは
- ✓ 安定供給のための流通面の取組とは
- ✓ 需要あり！実需が求める大豆とは

詳細は以下のURLまたは二次元バーコードからご確認ください。

<https://www.maff.go.jp/hokuriku/news/press/seisan/251223.html>



2026年の恵方巻きのロス削減に取り組む事業者募集中！

農林水産省は、節分の日に向けて、恵方巻きのロス削減に取り組む食品小売事業者を募集しています。応募いただいた事業者名等は1月下旬に農林水産省のホームページで公表します。また、予約購入の呼びかけや食品ロス削減を促す啓発コンテンツを提供します。

1. 恵方巻きのロス削減に取り組む食品小売事業者の募集

恵方巻きのロス削減に取り組む食品小売事業者を募集し、その事業者名を1月下旬に農林水産省ホームページで公表します。

募集対象

次のいずれかに取り組む食品小売事業者

- (1) 啓発資材等の活用による消費者への予約購入等の呼びかけ
- (2) 予約販売
- (3) 製造・販売計画の工夫、需要予測の精緻化
(例:過去の販売実績を考慮して、ロスの出にくい製造・販売計画を策定)
- (4) サイズやメニュー構成の工夫
(例:前年は通常サイズ商品の廃棄量が多かったため、ハーフサイズの販売数量を増やす)
- (5) 当日のオペレーションの工夫
(例:売れ行きに応じて、値下げ時間を前倒しする)



応募方法

上記募集対象に該当する方は、次の応募フォームからご応募をお願いします。

【応募フォームURL】 <https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=6DkBrJji0qvMEVxNh0TRC4DwKDGzR5PkJroSlK5g9BUOTZGNDJIREIGWDIJUFA0VEIEQkExTk1KUS4u>

募集期間

令和7年12月23日(火)から令和8年1月23日(金)まで

公表方法

農林水産省ホームページ上に、事業者名及びその取組内容の一覧を公表します。

【掲載予定ページ】 https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/kisetsusyokuhin.html

2. 啓発コンテンツの提供

啓発コンテンツの利用をご希望の方は、1の応募の際に、農林水産省作成の資材を活用する旨記載の上、各リンクからダウンロードしてお使いください。

啓発コンテンツには会社名や店舗名を記載して、農林水産省と連携して取り組んでいることがPRできるようになっています。さらに、メッセージが編集可能な資材もあります。

○ 編集可能啓発資材（メッセージ例）



○ 編集不可啓発資材

※お店の名前部分のみ編集可



令和8年度農林水産関係予算概算決定の概要

令和8年度農林水産関係予算の概算決定の概要が公表されました。

新たな食料・農業・農村基本計画を踏まえ、農業構造転換集中対策を着実に実施しつつ、食料安全保障の強化、農業の持続的な発展、農村の振興、環境と調和の取れた食料システムの確立等に向けた農林水産政策を推進し、農林水産業の持続可能な成長を実現するための予算です。

予算総額として、2兆2,956億円(前年度から250億円増額)を措置しています。

詳細は以下のURL又は右の二次元バーコードからご確認ください。

<https://www.maff.go.jp/j/budget/r8kettei.html>



令和7年度農林水産関係補正予算の概要

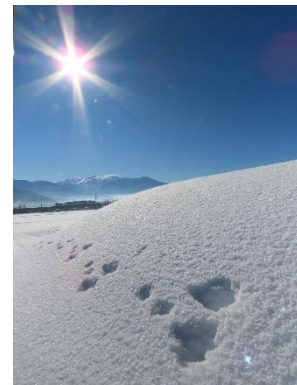
<https://www.maff.go.jp/j/budget/r8kettei.html>



編集後記

今月の表紙写真「チンコロ」とは、しんこ(米の粉)を原料にして作られた大きさ約3センチの細工物です。子犬やその年の干支を模したものが多く作られ、福を招く縁起物として飾られたり、かつては囲炉裏で焼いて食べられていたそうです。

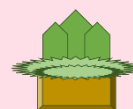
さて、新潟県内は年明けからまとまった雪が降った地域もありましたが、今年は大きな災害が起こらず、幸多き一年になることを願っています。



(うさぎの足跡)



お問い合わせ



北陸農政局新潟県拠点では、「現場と農政を結ぶ」業務を通じて、地域の皆様にタイムリーに農政に関する情報をお伝えするとともに、農業現場の抱える課題や農政に対する意見をきめ細かに汲み上げ、各種施策につなげていくこととしています。

地域の農業者(地域の担い手や若手農業者、女性農業者など)の方の集まり等で、「農業施策の〇〇について聞きたい。」といったご要望がございましたら、直接伺ってご説明いたします。

ご遠慮なく、お気軽に下記へご連絡ください。

北陸農政局新潟県拠点 地方参事官室

〒951-8035 新潟市中央区船場町2-3435-1

TEL 025-228-5216

ホームページ <https://www.maff.go.jp/hokuriku/nousei/niigata.html>

新潟県拠点HP
はこちら▼

